

6月17日

々竹の子とりのついでに...

藤七温泉周辺を歩いてみたよ!

まだ雪がこんなに残ってる!!



▲ コバイケイソウの群落。
このあたりはいたる所から温泉が湧いて
いるので、本来7月に入ってから咲くコバイケイソウが
もう満開!! 他の高山植物も早く咲きます。



▲ シナノキンバイ
よく似たミヤマキンポウゲより
ひとまわり大きなお花を咲かせます。

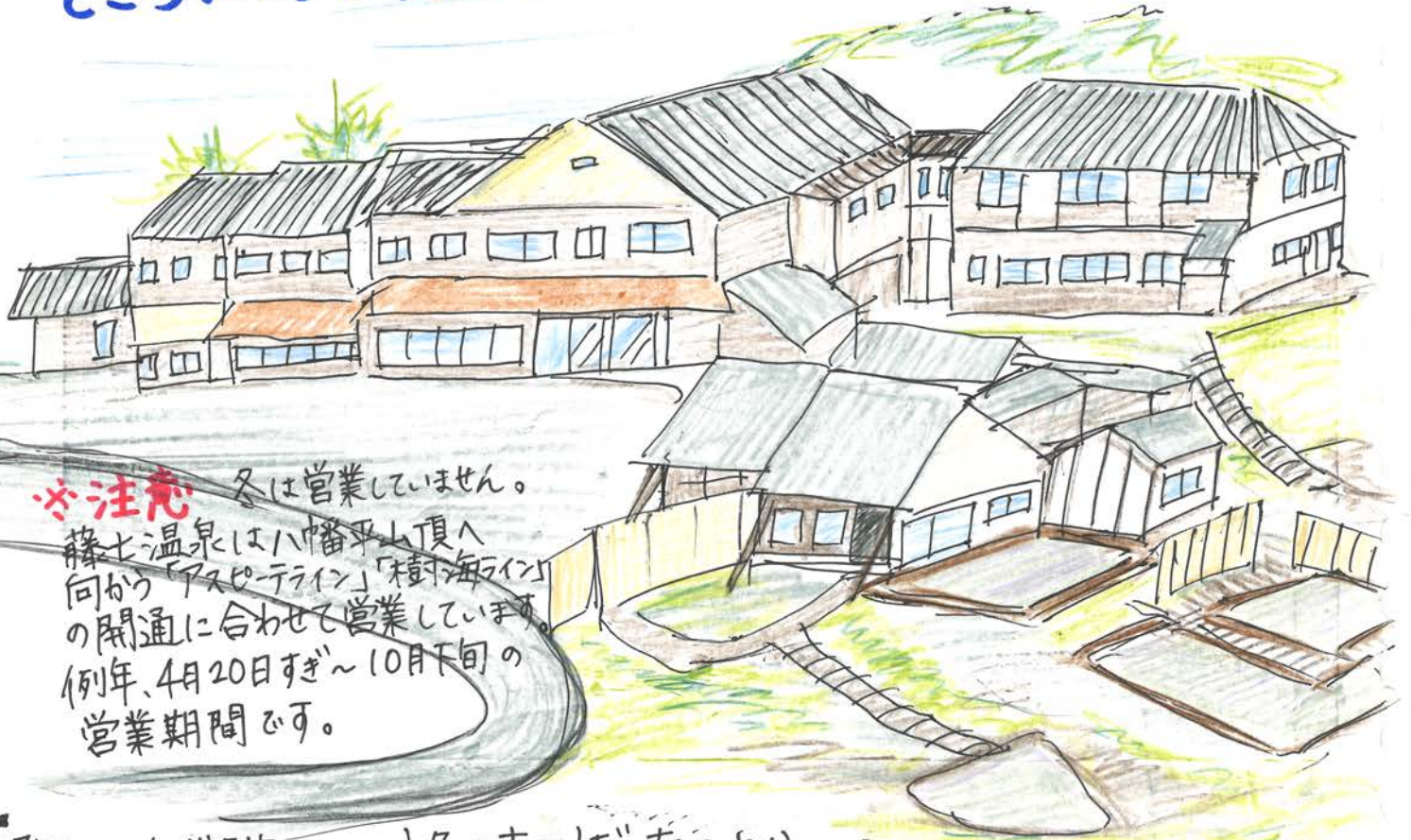
▶ この時季、樹海ライン沿いで
よく目立つツツジの仲間、
ムラサキヤシオ。



藤七温泉はこんなところ

※ほんとは自分で写真撮りたかったんですが...
お風呂ですので♡イラストでご紹介します。

海拔1,400m 東北で最も高い
ところにある温泉です。



※注意 冬は営業していません。

藤七温泉は八幡平山頂へ
向かう「アスピーライン」「植海ライン」
の開通に合わせて営業しています。
例年、4月20日すぎ～10月下旬の
営業期間です。

「発見した人が「藤七」という名の木コリだった」とか、
「蝦夷討伐に来た坂上田村麻呂が発見した」という
伝説が残っています。実際には阿部定一さんが昭和5年に建設
されました。
何といても、野趣あふれる露天風呂が大人気。
3つある源泉は91℃あり、硫黄の香りたっぷりの
お湯は神経痛や高血圧、冷え症、皮膚病などに
とてもよく交わくそうです。泥パックもできます。

山菜バイキング

おいしいよ!!

ランチタイム11:30～13:30
には、八幡平でとれた山菜を
たっぷり使った山菜バイキングが
人気です。予約なしでも
食べられます♪

おみやげ"黒たまご"



温泉の湯気を利用して作ったゆでたまごです。
玉子の殻の細かい気孔に、温泉の鉄分が
付着して、これに硫化水素が反応して
酸化鉄により、真っ黒になるんだそうです。

温泉の まわりの おはな



イワカガミ いろいろ。
同じ場所に生えていても
色がけっこう違います。



▼ハクサンチドリ



◀シラネアオイ
▼ツマトリソウ



◀シナノ
キンバイ

ノウゴウイチゴ
お店で売っている
イチゴの原種だよ



▼ウラジロヨウラク



▲オオバ
キスミレ

ふと思ったんだけど...

標高と海拔って何がちがうの？

おでかけ日記を書いていると、山の高さを調べる事が多いのですが、見る資料によって、「標高00m」「海拔00m」って、表現が違う...。ところで標高って山の高さじゃないの?! と思ったので、ちょっと調べてみました。

標高の基準になっているのは、

東京湾の平均海面 (=基準面)

簡単にいうと...

★ **標高** ⇨ 東京湾を0mとして測った高さ

★ **海拔** ⇨ 近くの海を0mとして測った高さ

なんでずって!!

え?! みんな知ってた?

わたしは知らなかった。

岩手山の場合

{ 三陸の海を0mとして測ったら**海拔**
東京湾を0mとして測ったら**標高**だよ。

